

平成22年度村政懇談会質疑応答に関するその後の対応

(総務部)

No.	学区	期日	担当課	質問	当日の回答	その後の対応
1	中丸	2010/6/18 (金)	自治推進課	共産党の議会報告書(2月2日)の中で、自治基本条例(案)の住民投票の発議権が議会(案)としては削除されたと書かれている。その中で住民投票の常設と非常設についてどのように違うのか、どんな影響があるのか説明して欲しい。	共産党の報告書を持ち合わせていない。内容を確認した上で回答したい。	この内容は、議会(議会調査特別委員会)としての考え方である。現在、村執行部においても条文の検討中であり、同内容が議会上程案としても決定された場合には、その時点で説明をしたい旨自治推進課長が当日の帰りに本人へ回答をした。
2	真崎	2010/6/25 (金)	財務課 自治推進課	ボランティア団体も使用する車として各コミセンに公用車を配置して欲しい。	指定管理者を指定する前に検討する。	財務課と話し合いを行い、その結果、自治会連合会事務局ができてから連合会に公用車の配置を考え、その中でボランティアも使用できるように考える。
3	村松	2010/6/28 (月)	総務課	選挙投票日の短縮について、現在は午後8時までであるが、午後6時まででもよいのではないかな。	何年か前に住民アンケートを実施して、その結果8時までよいとのことであつた。予算の面では、国政選挙等では国から補助金が出るので影響はないが、村政選挙では単独予算であるため削減することができる。	当面、現状のままとしたい。

(企画政策部)

No.	学区	期日	担当課	質問	当日の回答	その後の対応
1	村松	2010/6/28 (月)	政策推進課	常陸那珂港の后背地の利用計画について、一年間どのような検討をしてきたのか。	10月には国道まで道路ができることもあり、今年度中には関係者を集めて会議を立ち上げなければいけないと考えている。第5次総合計画においても、土地環境形成の総合的な検討を、役場の関係者で検討組織を立ち上げたいと思う。	土地環境の形成については、8月に都市政策課と政策推進課による内部協議を行い、役場内に検討体制を構築していきたいと考えている。

平成22年度村政懇談会質疑応答に関するその後の対応

2	村松	2010/6/28 (月)	政策推進課	「東海村を原子力センターにする懇談会」に期待することは。	原子力科学やセキュリティのための人材育成など、東海村が原子力とともに歩んできた歴史の中で培ってきたものを活かし、原子力の拠点を目指すものである。	コアメンバーによる有識者会議を3回開催した。国際化や東海村が有している原子力の人材や施設を活用して、世界に貢献できる内容等が議論されている。今後は9月3日に親会になる懇談会にこの検討結果を諮っていく。
3	村松	2010/6/28 (月)	政策推進課	東海駅から茨城東病院までのバス路線の廃止に伴う、公共交通の必要性についてどう考えるのか。	茨城東病院やJAEAと協議し、影響等も考慮した上で、バス路線廃止に同意せざるを得なかった。村民にはデマンドタクシーがあるので、まずはそちらを使っただき、廃止後の影響については状況を見ながら対策を考えていきたいと思う。	左記の回答のとおり。

(福祉部)

No.	学区	期日	担当課	質問	当日の回答	その後の対応
1	舟石川	2010/6/17 (木)	介護福祉課	ふれあい食事会の参加資格及び送迎等の見直しについて	現状を確認し、見直しを前提に検討していく。	○本事業は、介護予防を目的としたものであり、ひとり暮らし高齢者・高齢者のみの世帯、ひとり暮らし障がい者を対象としているが、介護予防という観点から月2回の開催を目指しているもの。 ○全地区月2回の実施に至っておらず、参加資格の拡大と併せて各地区で受入れ可能かどうかの調整が必要。 ○村が社会福祉協議会に委託している事業であり、検討・調整するよう指示済み。

平成22年度村政懇談会質疑応答に関するその後の対応

(経済環境部)

No.	学区	期日	担当課	質問	当日の回答	その後の対応
1	舟石川	2010/6/17 (木)	環境政策課	富士神社の清掃の件。昔は消防署に許可を得て、清掃したものは境内で燃やしていた。これは消防署に届け出れば、燃やせるという話であった。今回は自治会長からの通達では1000万円の罰金が科せられるとのことであったが、今後どここの神社でも清掃した場合には、全部可燃ごみとして出さなければならないのか、お伺いたい。	法律で野焼きは禁止になっている。ただ、文化的な行事であるとか、キャンプファイヤーなど、地域の行事に絡んだものには例外も考えられるので、その自治会長通達を見せていただき、確認させていただきたい。	宗教的な行事、小規模な焚き火等の例外事例以外の清掃時の剪定枝やごみを燃やすことは禁止されているので、清掃センターに持ち込むことを富士神社の役員の方に説明をして了解を得た。質問者ではないが、神社の関係者と協議中であることから、説明は役員にした。この回答をもとに神社の関係者で話し合うとのこと。
2	舟石川	2010/6/17 (木)	環境政策課	環境活動を実施しているが、今年は今まで支給されていた物(軍手)が支給されませんでした。ということなのか説明いただきたい。 そういう場合は、事前に通知するべきでは。	村の共済会などでも、1回ごとに捨てていて、ごみとなってしまうことから、もったいないので洗って使うよう指導しています。	軍手については、1回の使用でゴミになってしまうことから、今年度より支給しないこととした。このことについては、自治会の総会において自治会長に説明を行っている。
3	中丸	2010/6/18 (金)	環境政策課	村では二酸化炭素の排出量について家庭と事業所と行政の調査結果が出ているが、事業所と行政については測定点を指定することができるため、データが正確に出ると思う。しかし、家庭の場合は自治会長が住民に依頼しているため、自治会長が変わるたびに調査対象が変わってしまっており、データとして正確なものが算出できていないと考えるが、そのあたりはどのように考えているのか。	担当課に確認し後日回答する。	総務省統計局の見解によると、無作為による調査でも、一定数の調査数が確保されれば、ある程度正確な数字が求められるという結果が出ている。質問者に説明し、理解を得ている。

平成22年度村政懇談会質疑応答に関するその後の対応

4	村松	2010/6/28 (月)	環境政策課	地球温暖化対策、環境政策について伺う。村では地球温暖化対策については、地域協議会とか、環境政策課が中心になって取り組んでいると思うが、その活動内容がいま一つ理解されていないような気がする。つい1~2ヶ月前に抜き取りで調査を行ったが今後どのように活用していくのかお聞きしたい。	今ここでお答えできるようなデータがない。質問の趣旨は分かったので、後でデータと一緒に届けたいと思う。	7月29日に自宅を訪問し、地球温暖化対策地域協議会で作成しているCO2削減量を調査するための資料に利用していること、また村全体で取り組みを行っていることなどを説明し、了解を受けた。その際、調査結果の資料と東海村の環境概要版を渡した。
5	中丸	2010/6/18 (金)	経済課	「絆」隣接(細浦地区上流)の水田は長さ約800m中 約600m部分は未耕作地となっている。東海村の重点施策4本柱の1つとして農業が挙げられているが、このような現状を行政としてどのように認識しているか。今後の計画などあれば伺いたい。	耕作放棄地は、本村のみならず農業従事者の高齢化や担い手の減少により、全国的な課題となっている。村としては平成20年度に耕作放棄地の全体調査を実施してきている。平成21年12月には農地法の一部改正がなされ、農業委員会の権限と役割が強化された。農業委員会が農地利用状況等を調査し、土地利用に関する、指導・通知・公告・勧告まで、一連の手続きが可能となった。今後、農業委員会が8月から10月にかけて現地調査を実施しながら、その結果を受け『耕作放棄地対策協議会』を立ち上げ、農業委員会と共に耕作放棄地の解消に向けた対策を進めていく。	7月26日に開催した農業委員会で耕作放棄地の確認班を決定した。8月から10月までに現地調査を実施する。

平成22年度村政懇談会質疑応答に関するその後の対応

6	村松	2010/6/28 (月)	経済課	東海村は歴史的な視点からも非常に重要な建造物が現存しており、特に宿地区には日本三体虚空蔵尊の一つである村松山虚空蔵尊が、その奥には大神宮があり、年間を通して多数の参拝客が訪れている。これらの施設は国の財産であると同時に東海村の財産でもあり、村おこしの意味でも非常に重要な観光スポットである。しかし、これら歴史的建造物付近の環境(観光・交通・駐車場など)が十分に整備されているとはいえない状況である。東海村の行政として「村の発展・村づくり、村おこし」の観点から、どのようなビジョンをお持ちであるか伺いたい。	ご指摘のとおり宿地区は歴史的建造物である観光資源がある。このことは、科学と歴史が融合する「村の発展・村づくり」にも活かされ、これらを観光資源の原資として活用できるものと考えている。現在、国道245号線の拡幅が計画され測量等の作業が進められているので整備状況を踏まえ、周辺の住民環境も踏まえながら門前町に相応しいまちづくりを地区の皆さんと協議していきたいと考えている。	現在、県大宮土木事務所が用地交渉に入る準備と伺っているその状況を見ながら対応を図っていききたい。
7	村松	2010/6/28 (月)	経済課	細浦中央排水路の通称「鉄板橋」より下流側が地盤沈下により機場まで容易に流れず常に溜まった状況にある。また、圃場の復水路の柵の開口部が狭く、豪雨時はゴミ等が溜まり、圃場に逆流する状態である。更に排水機場の「ポンプ能力(3,900m³/h)＞水の流入量」となっておりポンプの能力がまったく機能していない。従って今年、水田に水があるため農業用機械が入れず耕作者は作業が出来ず大きな影響があった。上記の問題を解決する具体的な方策をお伺いしたい。	圃場の復水路の柵の開口部が狭いため、豪雨時にゴミが溜まり圃場に逆流することですが、中央区画整理事業区域と「絆」の間の水田には雨量を調整するための調整池を設けるよう計画しており、豪雨時には、細浦中央排水路に流す水量を制限し水位を下げるにより、出来るだけ復水路に湛水しないように配慮した設計にするように計画されております。また、排水機場のポンプの能力がまったく機能していないなどのご質問ですが、主たる原因は細浦排水機場内に土砂等が堆積していることから、一定量の水量が確保できず空気を吸い込んでしまうことが原因であるところとす。	平成23年度に土砂浚渫(しゅんせつ)を実施するため、予算計上を図っている。

平成22年度村政懇談会質疑応答に関するその後の対応

8	石神	2010/6/23 (水)	経済課	久慈川周辺の整備計画については平成15年の村政懇談会での質問に対する役場の考え方が示されたが、必ずしも終了していない。今後の考え方、また年次計画を知りたい。また、最近の異常気象も合間って、竹瓦地区の雨水の流入量が増大している。これを排出する前川樋管機器の状況は万全か。ゲートの不具合があると聞くが大丈夫か。今後の保全の考え方をお聞きたい。	村が管理する前川樋管・竹瓦排水機場については、洪水時等などによる農地及び樋管への河川水の逆流防止に備え、速やかに樋管等の操作ができるよう必要な機械器具等の点検整備を実施しながら万全の対策を図っていく。平常時は、機場委員会と委託業務契約をしながら点検管理をしているが、緊急時は樋管の操作をするため機場内に待機して災害時に対応している。ゲートに不具合については、ゲートを含む機械器具等の保守点検で異常が無いことを確認している。保全の考え方については、雨量調整を含め今後も機械器具等の保守の徹底と機場管理委員会や国土交通省関係機関と連携をとりながら対応していく。	保全の考え方については、雨量調整を含め今後も機械器具等の保守の徹底と機場管理委員会や国土交通省関係機関と連携をとりながら対応していく。平成22年度内に機場管理委員会を開催して緊急時対応の再確認を実施する。
---	----	------------------	-----	--	---	---

(建設水道部)

No.	学区	期日	担当課	質問	当日の回答	その後の対応
1	舟石川	2010/6/17 (木)	道路整備課	村道1030の舗装要望。以前に区長要望として何度か出したが取り上げてもらえなかった。向かいに80歳のおばあちゃんがいて、手押し車を使っているがガタガタして不便である。セットバックした土地を寄付しないと駄目と言われた。これから作るみちづくり計画でここを位置づけて実施してもらいたい。	この道路は、以前区長要望として出されていたことは承知しているが、行き止まりとかで採択されなかったと思う。みちづくり計画では、それぞれの道路の特性に応じた整備方針を示すもので、個々の道路の整備を位置づけるものではない。自治会長と相談して要望を出していただきたい。なお、現在は、セットバック用地を村が買い取る制度があるので、利用してもらいたい。現地を確認する旨回答。	現道簡易舗装で実施する方向で検討中。

平成22年度村政懇談会質疑応答に関するその後の対応

2	舟石川	2010/6/17 (木)	環境政策課 関連(都市政 策・道路整 備)	道路の環境美化をしているが、これまで環境政策課から、ゴミ袋と軍手をもっていたが、今年からは駄目といわれた。駄目なら文書で通知をしてもらいたい。	共済会でのクリーン作戦のときにも、作業終了後、軍手を捨ててしまうとゴミになるということから新しい軍手の配布は行わず、洗ったものを次回も使用している。部内所管の地区・ボランティア活動への対応を自治推進課と協議調整して望む必要あり。	7月18日に行った久慈川一斉クリーン作戦では、支給した軍手を持ち帰ってもらい再利用を促した。緑地保全ボランティア活動への対応も同様とし、持ち帰らない軍手は役場で洗濯し、クリーン作戦・緑地保全活動で再利用をすることで臨んでいる。
3	中丸	2010/6/18 (金)	水道課	下水道等の処理施設等空間を利用して、太陽光発電装置を設けて、処理施設への電源供給をすれば村としてのCO2削減へ寄与できると思うが。	村長回答 浄水場沈殿槽上部に太陽光発電パネルを設置することを検討している。	現在実施している浄水場関連施設のかかる耐震補強実施設計で沈殿槽スラブに太陽光発電システムの検討をしているかの確認をした。6月21日実施設計で検討していることを確認した。実施設計完了後時に計画発電量等の確認をする。
4	中丸	2010/6/18 (金)	調整必要	村内の地図というと、都市計画図を出されるが都市計画図のようなものではなく、現況図を作してほしい。	村長回答 作ること検討する。 部としての考え 現況図を何に使用するかで、地図の作り方が変わる。国土地理院の作成地図や航空写真の検討が必要か。	現在、年次計画の中で都市計画図の見直し作業中である。早期完了に努め、計画路線を除いた図面を作成し、現況図として使用できるようにしていく。

平成22年度村政懇談会質疑応答に関するその後の対応

5	石神	2010/6/23 (水)	道路整備課	経済環境部回答の久慈川洪水時の対応に関連して 洪水で、ゲートを閉める時に停電になってしまったら手動で閉めるようになる。手動で試したらハンドルを2時間回して40センチ程度しか下がらない。発電機の準備が必要と思う。	経済環境部長回答 発電機の設置を検討する。 部としての考え 「建設水道部が所管する水門も電動であることから、停電時における手動操作に要する時間や発電機準備等について、下流事務所と協議しておく必要がある」	7月22日に久慈川下流事務所に確認する。自動操作が基本であり、手動については予備的な考え方である。ただし、非常時には手動で約30分～40分時間を必要とするので、対応策として発電機の設置については、現在検討中。
6	石神	2010/6/23 (水)	部内全課	元職員との関係があると思われる面から工事が行われているような噂がある。また課長決裁で行う工事には、どのようなものがあるか。	課長決裁は50万円。部長決裁は130万円。この場合は、地方自治法・村財務規則で随意契約ができとなっているが、見積りは3社とっている。急ぎの工事等のときが多い。	村政懇談会終了時(6月29日)に部内の各課長へ各地区別村政懇談会の建設水道部の関連する事項を取りまとめ、共有化を図るとともに、本件については、各課長から工事等担当者へ疑われるような言動はしないよう指示した。
7	石神	2010/6/23 (水)	部内全課	年度末に工事が集中している。また、工事の看板などがなく、何の工事をしているか分からない。工事に入る前に自治会長へ通知をしてもよいのでは。	以前は、年度末の工事が集中したこともあるが、現在は工事の早期発注をしており、年度末に集中することは改善されていると思う。自治会長への周知は、中丸の村政懇談会のように、この場で行うことも考えられるが、時間を要するので各自治会長へその都度連絡するようにしたい。「村長回答 地域で情報が欲しいとのことなのでそのようにする。」 部としての考え 情報の出し方を検討する必要あり。下水道課では、工事着手前に回覧板にて周知している。当面この方法で対応したい。	村政懇談会終了時(6月29日)に部内の各課長へ各地区別村政懇談会の建設水道部の関連する事項を取りまとめ、共有化を図るとともに、本件については、現在下水道課で地域自治会を通し回覧板での周知と直接関連住民への事前説明(挨拶)を実施していることから、この対応と同様にするように指示した。

平成22年度村政懇談会質疑応答に関するその後の対応

8	石神	2010/6/23 (水)	下水道課	内宿一区、役場の後ろの地域で下水道が入っていないところがある。いつ入るか時期を教えて欲しい。	詳細なデータを持ち合わせていないので、後で伺い説明する。	内宿一区のみどり常会付近の整備予定年度は平成25年度予定なので、7月20日に質問者にその旨の説明をし了承を得た。
9	石神	2010/6/23 (水)	都市政策課 道路整備課	スマートICの利用台数と東海村側の側道を通る車両のスピードが出ていることが多く危険であり、何か看板ができないか。併せて、下り車線の橋の話はどうなっているのか。	利用台数は、H22. 5. 6現在で76万台。1日平均1890台で、一番多いときは3450台である。看板については、誘導標示(路面・看板)は警察と協議していく。橋の件は、今年2月に村、那珂市、県で東海スマートIC事務連絡会を立ち上げ協議をスタートしている。	誘導標示については7月下旬に発注した。
10	石神	2010/6/23 (水)		上記以外の建設水道部に関する質問 ①久慈川堤防沿線の地盤沈下 ②村民の森の指定	現状説明(つくばで分析中) 現状説明(場所・面積)	①7月22日常陸河川国道事務所工務第一課に確認した結果、現在調査結果の纏めを行っている。纏まり次第秋頃に地元説明会を開催する。②は、当日回答のみ、回答に対する進行管理の必要なし。
11	白方	2010/6/24 (木)	学校教育課 関連(都市政策課)	旧白方小学校校舎が解体されると聞いているが、解体前に見学をしたい。また、在学時代にタイムカプセルを埋めたものがどうなるのか。	教育次長回答 学校見学については、受け入れる用意がある。タイムカプセルの位置は把握しているものもある。その後、村長回答 見学会は村でも設定する。 部としての考え 都市政策課としては、建物の取り壊しまでは校舎内外の卒業記念作品やタイムカプセルの処理ができるように、学校教育課と連携する必要がある。	教育委員会のシートに記載済み。完了。

平成22年度村政懇談会質疑応答に関するその後の対応

12	白方	2010/6/24 (木)	道路整備課	百塚原第一常会は、原子力機構の木造戸建社宅跡地の北西に位置しており、跡地の一部を借りて旧白方小学校裏の通りに出ている。跡地が処分されてしまうと、この道路がなくなり不便であるので、跡地の中に村道の整備を要望する。	現状を把握できてないので、現地確認し検討する。 部としての考え 原子力機構の底地と道路として使われている部分の確認をし、政策推進課とともに、原子力機構と協議し可能性を調査する。	政策推進課と協議したところ百塚原団地内の道路については、地域の皆様には便宜上ご利用いただいている状況であるが、現在原子力機構では跡地の処分について検討しており、可能性についてはお答えできない。
13	白方	2010/6/24 (木)	学校教育課 関連(都市政策課)	旧白方小学校校舎が解体されるにあたり、パブコメの結果が出され、パブコメの意見が反映されたとは考えにくい意見を聞いただけである。また、校舎を本当に解体しなければならないのか。自治体によっては残して再利用しているところもある。木造校舎は特に残しているような気がするが。 今後の対応として、この問題は照沼小、中丸小、東海中等の建て替えにも影響があるか？考え方、方針のとりまとめが必要。	村長回答 パブコメのやりかたには、おっしゃるとおり問題があると思う。校舎の解体には、自分としても疑問は持っている。数値が0.3以下だと耐震性がないということから解体する。 部長回答 耐震性は、IS値0.3以下で耐震性が低く、補強により0.7以上にすることが必要。旧白方小の数値は今日は持ち合わせていない。白方小の体育館は中丸小の体育館と同時期に建て、この体育館を耐震診断をした結果、IS値が0.3以下で、現在本年度建て替えをすることで進めている。また、校舎のほうは、コンクリートの状態が石灰分が失われ、砂状になっているところや、型枠材等の残材が残っており施工は決してよい状況ではない。各自治体で木造の校舎等の再利用がされているのは、木自体は腐らなければ材料としては有効である。このようなことから補強として再利用されている。	耐震性の質疑は、進行管理は必要ないが村政懇談会終了時(6月29日)に、パブコメの仕方等は部内の各課長へ各地区別村政懇談会の建設水道部の関連する事項を取り纏め共有化を図った。

平成22年度村政懇談会質疑応答に関するその後の対応

14	白方	2010/6/24 (木)	道路整備課	歩道整備計画はあるか。あれば説明してもらいたい。	歩道整備は、現在白方地区では、原電線の南側の歩道の整備を終え、今年度は北側の歩道を年次計画で行う予定である。また、各地区の歩道整備も進めている。なお、本年度はみちづくり基本計画を作成し道路の整備方針を明らかにしていく。	7月8日第1回みちづくり基本計画策定委員会を開催。23年中に生活道路に関する整備方針の策定を行う。この計画を基に子どもや高齢者、障がい者にやさしいみちづくりを進めていく。
15	白方	2010/6/24 (木)	道路整備課	原子力機構百塚原団地の草が歩道にかぶさり、誰もやらないので自分が除草した。機構に申し入れて欲しい。	地域で除草いただいたことへお礼し機構のほうへ申し入れする。	6月25日に原子力機構管財課に確認した。団地内の除草については現在手配済みであり早急に対応する。併せてお礼の連絡を取るよう指示し完了した。
16	白方	2010/6/24 (木)	部内駐車場検討グループ	茨城交通の路線廃止により駅前広場が空いているので、駐車場の整備をしたらどうか。	駅前の駐車場は、議会からも提案され、これまで検討し、まもなく固まるので整備に向け取り組んでいく。	庁内検討グループにおいて、整備手法の素案がまとまり、現在JR、県警と調整作業中。調整が整い次第庁内合意を図り進めていく。
17	真崎	2010/6/25 (金)	区画整理課 道路整備課	新村松踏切の4車線規制は理解できるが、新たな抜け道が発生することが予想される。例、「しまむら」から入り合同庁舎裏に抜ける道路など。事前に時間規制できないか。	踏切規制後の状況を見ながらの対応になると考えられる。警察と協議するにしても、状況確認が必要になってくると思う。	閉鎖後の状況を見据えて進めていく。

平成22年度村政懇談会質疑応答に関するその後の対応

18	真崎	2010/6/25 (金)	都市政策課	事前質問の土地の有効利用(事業所等の土地で現在空き地の土地利用)	企画政策部長及び村長回答 第5次総では、新たな土地環境の形成をすることを記載しているが、市街化より調整区域が都市化している。これの対応や各事業者が保有している土地活用について議論する必要がある。他にフローレスタ須和間もあり緑地として残せないか。と思っている。都市計画上、何らかの手続き作業が入ってくるのが想定される。	今後、新たな土地環境の形成のため何らかの手続きが必要になれば関係課と連携し取り組んでいく。
19	真崎	2010/6/25 (金)	区画整理課	これまでの歴代村長は、村の清掃センターを造る時に、中央地区(長堀隣組)の排水(下水道?)整備を一番先にすると断っていたが、今では一番遅くなっている。情性で行くのではなく、その都度見直しをして欲しい。	村長回答 中央地区は、組施工から村施工になったとき、現地形の活用や事業費の削減などを行ったうえで実施してきている。また、現在も緑地を増やすことで、事業期間の短縮や事業費の削減をしようと思直しを行っている。(緑地にしようとしている土地の換地先は、区画内の保留地をあてること)	事業見直しにかかる地権者説明会を6月29日に開催し、出席者(17筆のうち9筆の地権者)全員の同意を得た。それ以降、欠席者への説明と同意取得作業を行っている。全員同意取得後、換地先の説明をし、協議調整し事業見直し作業を進めていく。

平成22年度村政懇談会質疑応答に関するその後の対応

20	真崎	2010/6/25 (金)	都市政策課	行政に言うことではないが阿漕ヶ浦の水位が上がっていることについて、どう考えているか。	この件は、6月の定例議会でも二人の議員から質問を受けている。この土地は大神宮の所有であり、今すぐどうできるものではない。水位の観察程度はできている。現地を見て地権者と会って以降を確認してきた。そこでは地権者も現況は知っている様子である。水位観察の了解をとったので、近々に観察する準備して取り組んでいきたい。観察には、雨季、乾季と一年サイクルが必要と考えている。	定点で、水位が観察できるポールを7月30日に設置した。今後、定期的観察をし経緯を見守っていく。
21	村松	2010/6/28 (月)	下水道課	川根地区の下水道事業の説明会は、具体的にいつ頃行うか。	村設置型の合併浄化槽のよる処理を検討している地区は、川根地区のほかに向竹瓦地区がある。詳細日程については、個別に自治会長と日程調整をしたうえで決めていきたい。	地元説明会を今年度中に予定しているので、事業概要説明や開催日の詳細について、事前に地元自治会長と協議を行い決定していく。
22	村松	2010/6/28 (月)	学校教育課 関連(都市政策課)	照沼小の改築にあたり、現在校舎の一部を使用し運営している学童クラブは、どのように考えているか。是非、学校敷地の中に設けて欲しい。要望。	教育長回答 その方向で検討する。部としての考え 学童クラブの扱いについては、現在進めている基本設計と福祉サイドの考えの調整が必要。	教育委員会のシートに記載済み。完了。

平成22年度村政懇談会質疑応答に関するその後の対応

23	村松	2010/6/28 (月)	政策推進課 関連(都市政策課)	新川河口から東電用地内にある公園や運動場に、歩いていけるようにしてもらいたい。	村長回答 そのように思うが、東電やサイクルの土地の関連もあり、なかなか難しいと思う。一方北線が秋に開通するので、そちらからも行ける。	常陸那珂火力発電所では、平成25年の完成を目指して2号機の建設を行っている。建設に伴い新川河口からの入り口については閉鎖することとなった。グラウンドと駐車場の一部の利用も休止となっているが、体育館並びにテニスコート、釣り場、緑地公園等は引き続き利用できる。アクセスとして秋に開通する北線も利用していただくこととなる。
24	村松	2010/6/28 (月)	都市政策課	村民の森構想があるが、天神山(真崎城址)の構想をたて、整備を早くして欲しい。そうしないと、どんどん開発されてしまうが。	宿区自治会長回答 現在、地区として遊歩道などを造る計画があるので、地区として動いているので少し待って欲しい。 ※村長回答 真崎・前谷津地区の次に考えていきたい。 ※部としての考え 前谷津に続いて準備に入る(諮問等)。	天神山は「緑の基本計画」の中で、保全配慮地区の候補地として位置づけられている。詳細は、現在策定中の「みどりの実施計画」の中で位置づけていきたい。

(教育委員会)

No.	学区	期日	担当課	質問	当日の回答	その後の対応
1	白方	2010/6/24 (木)	学校教育課	旧白方小学校について解体されてしまうのでその前に見学できないか。	具体的に検討したい。	有志の方と打合せを行い8月14日(土)に学校開放を行うことで作業を進めている。

平成22年度村政懇談会質疑応答に関するその後の対応

2	石神	2010/6/23 (水)	学校教育課	見守り隊への夏・冬対策の支給はできないか。	実施の報告で検討したい。	現状の把握をした。現在は地区自治会の安全・安心部会の方が役目を担っている。部会も防犯パトロールと安全パトロール部会とにわかれているところもある。また単位自治会として実施しているところもある。パトロール隊が身に着けている揃いのジャンパーや腕章などは「みんなで地域づくり補助事業(地区自治会)」や「いきいき地域活力助成事業(単位自治会)」を活用して購入しているところもあることから、教育委員会として「小学校の安全パトロール部隊」だけへの対応でよいのかと考え、7月13日の自治会連合会において協議を依頼した。 理事会の回答 活動の際には必要な備品・消耗品等の購入は、まずは各団体内の予算内で行うべき。それぞれの団体が村から何でもお金を出してもらおうという考えを改めてもらい、補助金の有効活用を図ることも大切である。当面は新たな補助を受けるより、村から受けている現在の補助金の中で考えてもらっても良いのではないか。そのため今後の推移をみることにしたい。
3	白方	2010/6/24 (木)	学校教育課	通学路が変わったので教えて欲しい。	子どもの状況により通学路は変わる。現在資料がないので後でお知らせしたい。	翌日に現在の通学路を質問者へ届ける。その後質問者と協議を行った。

平成22年度村政懇談会質疑応答に関するその後の対応

4	白方	2010/6/24 (木)	学校教育課	タイムカプセルが埋まっている。解体が始まるとカプセルも壊れてしまうのではないかと状況は把握しているのか。	状況は把握している。掘り起こすことも聞いている。できれば協働で作業できればと考える。	タイムカプセルは当時の子どもたちと先生とで埋めたものであるが多数あることが判明。場所については想定でき今回の解体工事や将来の調整池にも影響ない。そのため質問者に現状での保存でも支障がないことを説明する。今後学校開放日において卒業生の掘り起こす機運が高まれば対応していく。
5	真崎	2010/6/25 (金)	社会教育課	生涯学習センターを旧白方小学校跡地に建設して欲しい。	旧白方小学校が移転したように敷地が広いだけでは候補地としてはならない。安全面の考慮も必要である。	「東海村生涯学習センター建設検討委員会」にて基本構想を検討している。建設候補地も基本構想策定の中で決めていく。
6	村松	2010/6/28 (月)	学校教育課	学童保育の計画について	できるだけ敷地内で計画していく。	社会福祉課に、現在のように校舎の一部を使用して学童クラブを運営することができない旨を伝えている。小学校の建替えにあたっての学童クラブについては社会福祉課と協議中。
7	村松	2010/6/28 (月)	学校教育課	村松は範囲が広い。現在の村松小学校は村松自治会ではないので所在地の真崎小学校としてはどうか。	過去、村松小か真崎小か名称決定する際に委員会まで設けて大議論している。その結果村松小と決定したので経緯を尊重したい。	左に同じ。